

1 佐賀大学教育学部附属小学校（以下、本校）における「言語能力」の整理

本校における言語能力の捉え		
<p>【知識及び技能】</p> <p>言語能力を「読解力」「創造的思考」「他者とのコミュニケーション」の側面から見たときに、スムーズに発揮されるために必要なスキル</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>先の【知識及び技能】を習得・活用する中で、発揮される力。特に具体的な発声や文字による言語活動である一般的な言語（外言語）の機能のほか、音声や文字を伴わない、思考や概念、それらの体系の獲得・操作を行う内なる言語（内言語）の機能に表れる場面に着目する。</p>		
第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
対象との関わり		
人やもの、事柄などの対象と出会い、思いや願いをもつ。	人やもの、事柄などの対象に自ら働きかける。	状況や文脈を意識しながら、人やもの、事物などの対象に働きかける。
方法		
具体的な操作、観察といった感覚的な体験を積み重ね、その中で感じたことや考えたことを表現しようとする。	他者との対話を通して、ものごとの道筋やつながりを明らかにする。	他者との対話やコミュニケーションを意識的に図り、ものごとを抽象的・仮説的に思考する。
めざす姿		
自己の体、感情、思考を意識していく。	新たな自己に気付いていく。	自己の役割や責任を認識し、よりよい自己を創り始めようとしていく。

言語能力とその育成方法

言語能力	育成方法	育成方法の詳細
読解力の側面	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない単語や文章の意味を明確にする。 ・次に何が起こるか考えてみる。 ・読んだ内容、分からない単語を明確にするために質問する。 ・読んだ内容を整理しまとめる。 	読みの方略を明らかにして、指導内容を整理する。
創造的思考の側面	<ul style="list-style-type: none"> ・到達度目標に沿って育成していく。 	創造的思考スキルを明らかにして、指導内容を整理する。
他者とのコミュニケーションの側面	<ul style="list-style-type: none"> ・到達度目標に沿って育成していく。 	コミュニケーションに関わる能力を各教科等の側面から明らかにして、指導内容を整理する。